

(様式)

# 給付額計算書 映画館運営事業者

申請者名 法人名又は個人事業主氏名	
施設名称	

## 通常時及び時短要請期間中の営業時間等

### (1) 営業時間

- ・通常時及び時短要請期間中の営業時間を記入してください。
- ・期間中に営業時間のパターンが複数ある場合は、パターンごとに記入してください。
- ・時短要請期間中に休業した場合は、通常時の営業時間のみ記入してください。

パターン1	
<b>[通常時]</b>	<b>[通常時の営業時間数]</b>
営業時間 (*1) 開始 時 分 ~ 終了 時 分	営業時間数 $X_i$ 時間 分
<b>[時短要請期間中]</b>	<b>[終了時間の短縮]</b>
営業時間 (*1) 開始 時 分 ~ 終了 時 分	短縮時間 $Y_i$ (*2) 時 分
※ 24時間表記で記入してください。 ※ 特措法に基づく要請分(21時までの時短)が協力金の対象のため、21時以前に営業を終了した場合でも、通常の営業終了時間から21時までに短縮した時間となります。 ※ 24時間営業の場合は「5時00分～29時00分」と記入してください。	<b>[時短比率]</b>
	時短比率 $Z_i = Y_i / X_i$
	※少数点第4位切上

パターン2		※対象期間内の営業時間のパターンがひとつしかない場合は記入不要です。
<b>[通常時]</b>	<b>[通常時の営業時間数]</b>	
営業時間 (*1) 開始 時 分 ~ 終了 時 分	営業時間数 $X_i$ 時間 分	
<b>[時短要請期間中]</b>	<b>[終了時間の短縮]</b>	
営業時間 (*2) 開始 時 分 ~ 終了 時 分	短縮時間 $Y_i$ (*2) 時 分	
※ 24時間表記で記入してください。 ※ 特措法に基づく要請分(21時までの時短)が協力金の対象のため、21時以前に営業を終了した場合でも、通常の営業終了時間から21時までに短縮した時間となります。 ※ 24時間営業の場合は「5時00分～29時00分」と記入してください。	<b>[時短比率]</b>	
	時短比率 $Z_i = Y_i / X_i$	
	※少数点第4位切上	

<b>申請者名</b> 法人名又は個人事業主氏名	
<b>施設名称</b>	

パターン3

※対象期間内の営業時間のパターンがない場合は記入不要です。

**[通常時]**

営業時間 (*1)	開始	時	分	～	終了	時	分
--------------	----	---	---	---	----	---	---

**[通常時の営業時間数]**

営業時間数 $X_i$	時間	分
----------------	----	---

**[時短要請期間中]**

営業時間 (*1)	開始	時	分	～	終了	時	分
--------------	----	---	---	---	----	---	---

**[終了時間の短縮]**

短縮時間 $Y_i$ (*2)	時	分
--------------------	---	---

※ 24時間表記で記入してください。  
 ※ 特措法に基づく要請分(21時までの時短)が協力金の対象のため、21時以前に営業を終了した場合でも、通常の営業終了時間から21時までに短縮した時間となります。  
 ※ 24時間営業の場合は「5時00分～29時00分」と記入してください。

**[時短比率]**

時短比率 $Z_i = Y_i / X_i$	
---------------------------	--

※少数点第4位切上

※パターン4～パターン10の入力欄は非表示にしています。パターンが足りない場合は、「再表示」させてください。

**協力金額**

**<協力金の考え方>**

区分	計算方法	一日あたり給付額
自己利用部分の休業面積	$(\text{休業面積} - 1,000 \text{ m}^2) \div 1,000 \text{ m}^2 = \text{加算単位}$ <small>※少数点以下切捨</small> $20 \text{ 万円} + \text{加算単位} \times 20 \text{ 万円} = \text{A 万円}$ <small>※基礎額</small>	A + B 万円
スクリーン数	スクリーン数 × 2 万円 = B 万円	

※時短要請対象期間は時短比率、上映比率を乗じる

**[計算変数入力項目]**

自己利用部分の休業面積	m <sup>2</sup>	施設運営事業者自らが一般消費者向けに直接サービスを提供している部分のうち、要請に応じて休業または時短営業を行っている部分の面積(テナント、生活必需品の販売事業の区画面積は除く。)
スクリーン数		大規模施設である映画館において映画を上映することとしている常設のスクリーン数

<b>申請者名</b> 法人名又は個人事業主氏名	
<b>施設名称</b>	

**<協力金額>**

- ・ 下表の太枠部分に必要な事項を記入してください。
- ・ 「対応」欄には、時短要請に応じた日に「○」を、通常時の定休日及び不定休による店休日には「定」を、要請に応じなかった日に「×」を記入してください。
- ・ 要請の対象とならない日（通常の営業終了時間が21時以前の場合など）がある場合は「-」を記入してください。
- ・ 日によって営業時間が異なる場合は、時短状況欄にパターン番号を記入してください。

月日	対応	時短状況 (営業時間)		区分別給付額	区分別給付額	一日あたり 給付額 ( $\alpha + \beta$ ) ※千円未満切上
		パターン	時短 比率	休業面積 ( $\alpha$ )	スクリーン数 ( $\beta$ )	
9月13日	月					
9月14日	火					
9月15日	水					
9月16日	木					
9月17日	金					
9月18日	土					
9月19日	日					
9月20日	月					
9月21日	火					
9月22日	水					
9月23日	木					
9月24日	金					
9月25日	土					
9月26日	日					
9月27日	月					
9月28日	火					
9月29日	水					
9月30日	木					
<b>合 計</b>						万円

スクリーン名	

申請者名		施設名称	
------	--	------	--

月日		対応	上映比率等			一日あたり 給付額 (2万円× $r/\beta$ )
			本来上映予定回数 ( $\beta$ )	営業時間の短縮に より上映できなく なった回数 ( $r$ )	比率 ( $r/\beta$ )	
9月13日	月					
9月14日	火					
9月15日	水					
9月16日	木					
9月17日	金					
9月18日	土					
9月19日	日					
9月20日	月					
9月21日	火					
9月22日	水					
9月23日	木					
9月24日	金					
9月25日	土					
9月26日	日					
9月27日	月					
9月28日	火					
9月29日	水					
9月30日	木					

(様式)

# 給付額計算書 映画館運営事業者

記載例

申請者名 法人名又は個人事業主氏名	〇〇株式会社
施設名称	△△シネマ大津

## 通常時及び時短要請期間中の営業時間等

入力が必要な欄はすべて朱色で表示されています。またそれ以外の欄は入力できません。

### (1) 営業時間

- ・通常時及び時短要請期間中の営業時間を記入してください。
- ・期間中に営業時間のパターンが複数ある場合は、パターンごとに記入してください。
- ・時短要請期間中に休業した場合は、通常時の営業時間のみ記入してください。

パターン1	
[通常時]	
営業時間 (*1)	開始 09 時 00 分 ~ 終了 23 時 00 分
[通常時の営業時間数]	
営業時間数 $X_i$	14 時間 00 分
※自動入力	
[時短要請期間中]	
営業時間 (*1)	開始 09 時 00 分 ~ 終了 21 時 00 分
[終了時間の短縮]	
短縮時間 $Y_i$ (*2)	02 時 00 分
※自動入力	
[時短比率]	
時短比率 $Z_i = Y_i / X_i$	0.143
※自動入力 ※少数点第4位切上	

※ 24時間表記で記入してください。  
※ 特措法に基づく要請分(21時までの時短)が協力金の対象のため、21時以前に営業を終了した場合でも、通常の営業終了時間から21時までに短縮した時間となります。  
※ 24時間営業の場合は「5時00分～29時00分」と記入してください。

パターン2	
※対象期間内の営業時間のパターンがひとつしかない場合は記入不要です。	
[通常時]	
営業時間 (*1)	開始 09 時 00 分 ~ 終了 24 時 00 分
[通常時の営業時間数]	
営業時間数 $X_{ii}$	15 時間 00 分
※自動入力	
[時短要請期間中]	
営業時間 (*2)	開始 09 時 00 分 ~ 終了 21 時 00 分
[終了時間の短縮]	
短縮時間 $Y_{ii}$ (*3)	03 時 00 分
※自動入力	
[時短比率]	
時短比率 $Z_{ii} = Y_{ii} / X_{ii}$	0.200
※自動入力 ※少数点第4位切上	

※ 24時間表記で記入してください。  
※ 特措法に基づく要請分(21時までの時短)が協力金の対象のため、21時以前に営業を終了した場合でも、通常の営業終了時間から21時までに短縮した時間となります。  
※ 24時間営業の場合は「5時00分～29時00分」と記入してください。

申請者名 法人名又は個人事業主氏名	〇〇株式会社
施設名称	△△シネマ大津

パターン3

※対象期間内の営業時間のパターンがない場合は記入不要です。

**[通常時]**

営業時間 (*1)	開始	時	分	～	終了	時	分
--------------	----	---	---	---	----	---	---

**[通常時の営業時間数]**

営業時間数 $X_i$	00 時間 00 分
----------------	------------

※自動入力

**[時短要請期間中]**

営業時間 (*1)	開始	時	分	～	終了	時	分
--------------	----	---	---	---	----	---	---

**[終了時間の短縮]**

短縮時間 $Y_i$ (*2)	00 時 00 分
--------------------	-----------

※自動入力

※ 24時間表記で記入してください。  
 ※ 特措法に基づく要請分(21時までの時短)が協力金の対象のため、21時以前に営業を終了した場合でも、通常の営業終了時間から21時までに短縮した時間となります。  
 ※ 24時間営業の場合は「5時00分～29時00分」と記入してください。

**[時短比率]**

時短比率 $Z_i = Y_i / X_i$	0.000
---------------------------	-------

※自動入力  
 ※少数点第4位切上

※パターン4～パターン10の入力欄は非表示にしています。パターンが足りない場合は、「再表示」させてください。

**協力金額**

**<協力金の考え方>**

区分	計算方法	一日あたり給付額
自己利用部分の 休業面積	$(\text{休業面積} - 1,000 \text{ m}^2) \div 1,000 \text{ m}^2 = \text{加算単位}$ <small>※少数点以下切捨</small> $20 \text{ 万円} + \text{加算単位} \times 20 \text{ 万円} = \text{A 万円}$ <small>※基礎額</small>	A + B 万円
スクリーン数	スクリーン数 × 2 万円 = B 万円	

※時短要請対象期間は時短比率、上映比率を乗じる

**[計算変数入力項目]**

自己利用部分の 休業面積	1,400	m <sup>2</sup>	施設運営事業者自らが一般消費者向けに直接サービスを提供している部分のうち、要請に応じて休業または時短営業を行っている部分の面積（テナント、生活必需品の販売事業の区画面積は除く。）
スクリーン数	1		大規模施設である映画館において映画を上映することとしている常設のスクリーン数

申請者名 法人名又は個人事業主氏名	〇〇株式会社
施設名称	△△シネマ大津

<協力金額>

- ・ 下表の太枠部分に必要な事項を記入してください。
- ・ 「対応」欄には、時短要請に応じた日に「○」を、通常時の定休日及び不定休による店休日には「定」を、要請に応じなかった日に「×」を記入してください。
- ・ 要請の対象とならない日（通常の営業終了時間が21時以前の場合など）がある場合は「-」を記入してください。
- ・ 日によって営業時間が異なる場合は、時短状況欄にパターン番号を記入してください。

月日	対応	時短状況 (営業時間)		区分別給付額 休業面積 ( $\alpha$ )	区分別給付額 スクリーン数 ( $\beta$ )	一日あたり 給付額 ( $\alpha + \beta$ ) ※千円未満切上	
		パターン	時短 比率				
9月13日	月	○	1	0.143	2.86万円	1.00万円	3.9万円
9月14日	火	○		0.143	2.86万円	1.00万円	3.9万円
9月15日	水	▼			2.86万円	0.80万円	3.7万円
9月16日	木	▼			2.86万円	0.80万円	3.7万円
9月17日	金	○	2	0.200	4.00万円	1.00万円	5.0万円
9月18日	土	○	2	0.200	4.00万円	1.00万円	5.0万円
9月19日	日	○	1	0.143	2.86万円	0.80万円	3.7万円
9月20日	月	○	1	0.143	2.86万円	0.80万円	3.7万円
9月21日	火	○	1	0.143	2.86万円	0.80万円	3.7万円
9月22日	水	○	1	0.143	2.86万円	0.80万円	3.7万円
9月23日	木	○	1	0.143	2.86万円	0.80万円	3.7万円
9月24日	金	○	1	0.143	2.86万円	0.80万円	3.7万円
9月25日	土	○	2	0.200	4.00万円	0.80万円	4.8万円
9月26日	日	○	2	0.200	4.00万円	0.80万円	4.8万円
9月27日	月	○	1	0.143	2.86万円	0.80万円	3.7万円
9月28日	火	○	1	0.143	2.86万円	0.80万円	3.7万円
9月29日	水	○	1	0.143	2.86万円	0.80万円	3.7万円
9月30日	木	○	2	0.200	4.00万円	0.80万円	4.8万円
合 計					72.9万円		

スクリーン名		申請者名	〇〇株式会社	施設名称	△△シネマ大津	
スクリーン 1		スクリーンの名称を入力してください。申請される数のスクリーン分すべて入力ください。			一日あたり 給付額 (2万円× $r/\beta$ )	
月日	対応	本来上映予定回数 ( $\beta$ )	営業時間の短縮により 上映できなくなった回数	比率 ( $r/\beta$ )		
9月13日	月	○	4回	2回	0.500	1.00万円
9月14日	火	○	4回	2回	0.500	1.00万円
9月15日	水	○	5回	2回	0.400	0.80万円
9月16日	木	○	5回	2回	0.400	0.80万円
9月17日	金	○	4回	2回	0.500	1.00万円
9月18日	土	○	4回	2回	0.500	1.00万円
9月19日	日	○	5回	2回	0.400	0.80万円
9月20日	月	○	5回	2回	0.400	0.80万円
9月21日	火	○	5回	2回	0.400	0.80万円
9月22日	水	○	5回	2回	0.400	0.80万円
9月23日	木	○	5回	2回	0.400	0.80万円
9月24日	金	○	5回	2回	0.400	0.80万円
9月25日	土	○	5回	2回	0.400	0.80万円
9月26日	日	○	5回	2回	0.400	0.80万円
9月27日	月	○	5回	2回	0.400	0.80万円
9月28日	火	○	5回	2回	0.400	0.80万円
9月29日	水	○	5回	2回	0.400	0.80万円
9月30日	木	○	5回	2回	0.400	0.80万円

**記載例**

支給額計算書の対応欄の情報が自動反映されます。

日毎に上映予定回数、上映できなくなった回数を入力してください。